

当初予算の概要

令和6年度は、「第2次東近江市総合計画後期基本計画」が3年目を迎えます。計画の実現に向けて事業推進を図るとともに、東近江市誕生20周年の節目に当たり、さらなる成長に向けた施策を加速していくための予算を編成しました。

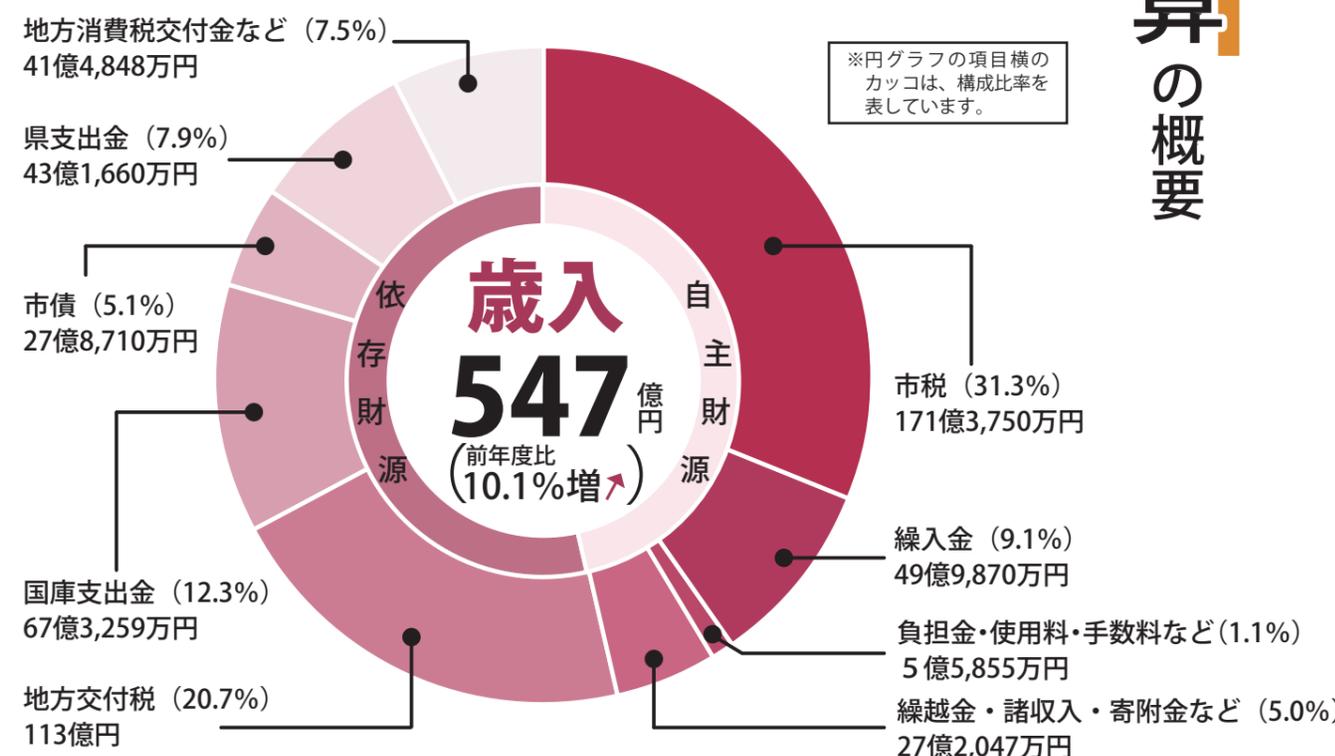
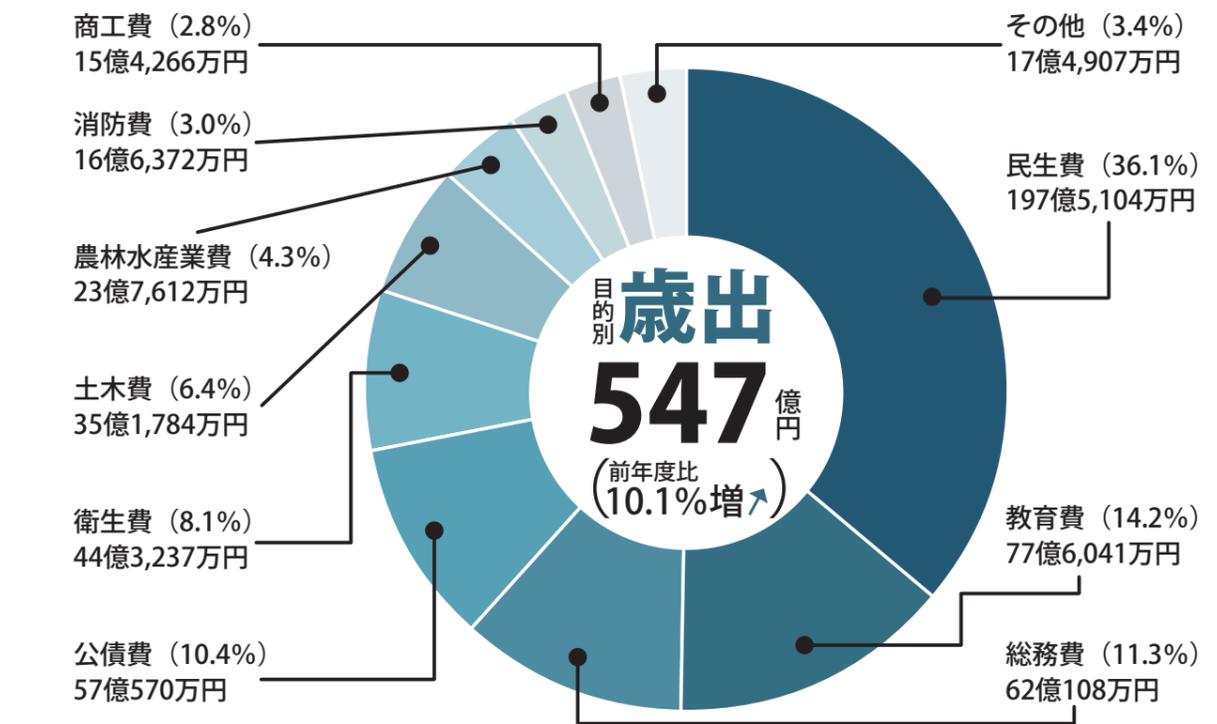
本市の主要事業である中心市街地のにぎわい創出、農林水産業・商工業の振興、結婚・妊娠から出産・子育てまでの継続的な支援、地域医療の充実、教育環境の整備をはじめとして、観光や歴史文化、スポーツの振興、都市基盤や公共交通機能の強化、デジタル技術の活用による市民サービスの向上などを強力に推進するとともに、令和7年に開催する国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備を計画的に進めます。

ここでは、一般会計の歳入・歳出や主な事業を紹介します。

財政局
〒500-5801 5602
TEL 050-5801-5602
FAX 0748-24-0752

性質別歳出内訳

項目	予算額	説明
人件費	105億6,267万円	職員の給料、議員報酬、各種委員報酬など
扶助費	98億6,901万円	児童手当や障害者・高齢者の支援、生活保護など
物件費	90億6,286万円	公共施設の維持管理など
補助費など	77億6,946万円	広域で事業を行う組合への負担金、各種団体などへの補助金や負担金など
公債費	57億570万円	市の借金の返済
普通建設事業費	49億2,564万円	公共事業など、将来への投資
繰出金	40億4,809万円	特別会計・企業会計への繰出金など
その他	27億5,657万円	基金積立など



用語の説明

- 一般会計**
まちづくりや福祉、教育など、市の全般的な事業を行う会計
- 特別会計**
保険料や使用料など特定の収入で事業を行う会計
- 企業会計**
事業収入により経営する会計
- 歳入**
 - 自主財源
市が自主的に確保できるお金
 - 市税
市民や企業などからの税金
- 繰入金
基金(貯金)を取り崩したお金
- 負担金・使用料・手数料など
特定のサービスを受けた人が負担するお金
- 繰越金・諸収入・寄附金など
前年度から繰り越されるお金や寄附金など
- 依存財源
国や県から交付や割り当てられるお金
- 地方交付税
国税の中から市へ交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金
特定の事業に対して国や県から支出されるお金
- 市債
市の借金
- 地方消費税交付金など
国から一定の基準で配分されるお金など
- 歳出**
 - 民生費
児童や障害者、高齢者福祉の充実など
 - 教育費
学校や社会教育、スポーツ振興など
 - 総務費
企画財政管理、市税の徴収、その他全般的な管理経費
 - 公債費
市の借金の返済
 - 衛生費
健診やごみ処理など
 - 土木費
道路や河川、公園の整備など
 - 農林水産業費
農業や林業、水産業の振興など
 - 消防費
消防や防災対策など
 - 商工費
商工業や観光の振興など

会計別当初予算額

会計名	令和6年度	令和5年度	差引増減額	増減率	
一般会計	547億円	497億円	50億円	10.1%	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	107億8,400万円	107億1,300万円	7,100万円	0.7%
	国民健康保険(施設勘定)	1億7,600万円	1億7,700万円	△100万円	△0.6%
	後期高齢者医療	15億9,400万円	14億200万円	1億9,200万円	13.7%
	介護保険	89億円	89億6,300万円	△6,300万円	△0.7%
	農業集落排水(下水道事業会計に統合)	0万円	11億9,500万円	△11億9,500万円	皆減
	公設地方卸売市場	4,600万円	4,800万円	△200万円	△4.2%
	小計	215億円	224億9,800万円	△9億9,800万円	△4.4%
企業会計	水道事業	36億661万円	33億131万円	3億530万円	9.2%
	下水道事業	71億4,075万円	53億3,845万円	18億230万円	33.8%
	病院事業	3億4,918万円	3億7,797万円	△2,879万円	△7.6%
小計	110億9,655万円	90億1,773万円	20億7,882万円	23.1%	
合計	872億9,655万円	812億1,573万円	60億8,082万円	7.5%	

*四捨五入して万円単位で示しているため、合計額などが合致しない場合があります。

夢のある東近江市の創生

産婦健診の支援 850万円
妊産婦医療費助成制度 2,800万円

妊娠から出産・産後までの相談支援体制の充実を図ります。県下初となる妊産婦にかかる医療費の助成を行うなど、きめ細やかな対応を行います。

見守りおむつ宅配便 2,481万円

1歳未満の乳児を養育する家庭に子育て経験のある宅配員が声かけをしながらおむつなどを宅配し、子育て世帯の見守りと経済的な負担軽減を図ります。

校内教育支援センター設置・運営 5,801万円

不登校傾向の児童生徒などの早期発見や居場所づくりに取り組むほか、児童生徒自身の悩み事や保護者の子どもの成長に関する相談体制を充実します。

里山保育の推進 356万円

幼少期から身近な自然の中でさまざまな体験を通して、自然に親しみ地域への愛着を育むため、里山保育を拡充します。



見守りおむつ宅配便

豊かな東近江市の創生

(仮称)黒丸SICの設置推進 1億3,560万円

名神高速道路(仮称)黒丸スマートインターチェンジの整備に向けた用地取得などを行います。

一般社団法人近江鉄道線管理機構負担金 3億9,098万円

上下分離方式に移行する一般社団法人近江鉄道線管理機構に対し、運営に必要な費用を負担します。

近江鉄道・近江バス通学定期券購入支援 1,000万円

中学生・高校生を対象に通学定期券の購入を支援します。

JR能登川駅舎長寿命化 5,500万円

近江鉄道朝日大塚駅自転車駐車場整備 350万円

駅舎の長寿命化や自転車駐車場整備などの公共交通をとりまく環境の整備を進めます。

福祉センターハートピアの改修 5億300万円

住み慣れた地域で暮らし続けられるよう地域福祉の拠点施設を改修し、機能強化を図ります。



▲名神高速道路 黒丸パーキングエリア



▲近江鉄道八日市駅

東近江市制20周年記念事業を実施

東近江市制20周年記念事業の実施 2,800万円

令和7年2月11日に東近江市制20周年を迎えるに当たり、東近江市の魅力を見直し、市内外に情報発信を行うことを目的に、記念式典の開催および市勢要覧や記念切手の作成、文化芸術記念公演の開催などの記念事業を実施します。



東近江市制20周年ロゴマーク

令和6年度 主な事業

3年目を迎える「第2次東近江市総合計画 後期基本計画」の実現に向けて推進する主な事業を紹介します。

活力ある東近江市の創生

商店街等活性化の支援 9,648万円

近江鉄道八日市駅周辺のにぎわいの創出や商業の活性化を目的に空き店舗改修や既存店舗リノベーションへの支援などを行います。また、新たに開業する大型商業施設に来店する買い物客を市内の店舗に誘導するためにレシートラリーを開催するなど、さらなる地域経済の活性化に取り組みます。

立地促進奨励金 2億2,095万円

雇用促進奨励金 3,380万円

新たな企業の進出や既存企業の規模拡大を支援します。

有機JAS・GAP認証取得の支援 90万円

市内で生産される農産物の競争力強化に向け、農家の有機JASやGAPの認証取得を支援します。



魅力ある東近江市の創生

国スポ・障スポ大会開催に向けた取組 6億3,588万円

令和7年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を今後のスポーツ振興につなげるために、スポーツ施設の整備や改修、プレ大会の開催などを行います。

観光施設改修(能登川水車とカヌーランド) 1億9,500万円

国民スポーツ大会カヌースプリント競技開催時の受入れ体制を強化し、大会後も多様な活用を図れるように整備します。

森の文化の調査 389万円

森里川湖のつながりを生む鈴鹿の森の文化を発信するため「(仮称)森の文化博物館」の整備に向けて取り組みます。

観光施策の推進 1,158万円

豊かな自然環境や奥深い歴史文化をいかしたイベントの開催やイベント誘致により誘客を図ります。本市の豊かな自然を体感し、自然の大切さについて考える「びわ湖 東近江 SEA TO SUMMIT2024」の開催など市域全体をフィールドとするエコツーリズムを推進します。

健康マラソン大会の開催 600万円

能登川図書館改修 1億5,151万円

